

MAITZ

電動 裁断機 CE-42AP

取扱説明書

保存用

お買い上げいただきましてまことに有り難うございます。

事務用裁断機としてすぐれた安全性と裁断機能をもつ本機を末永くご使用
いただくため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使い
ください。

この裁断機を譲渡する場合は、この説明書も同時にお渡しく下さい。

安全技術協会 合格番号 第TA364号

本機はヨーロッパ安全基準

EN60204;EWG-RL89/

392;EWG-RL73/23


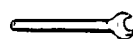



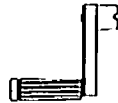
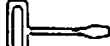
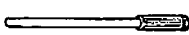

の承認を受けております。

安全にご使用いただくためのお願い


【図-2参照】

1. 使用説明書をよく読んでから使いはじめてください。
2. 裁断作業は必ず1人で行ってください。
3. 【電源キー】⑤は安全管理のため不使用時には必ず別の保管場所に保管してください。
また安全確保のため不使用時に【電源キー】は機械につけばなしにしないでください。
4. 操作の際は【安全ガードカバー】③、【メインスイッチ】⑦、【電源キー】⑤が正しくセットされているかどうか確認をしてから裁断作業をしてください。
5. 刃の交換時、または受木の交換時には【メインスイッチ】⑦を必ずOFFにしてから行ってください。
6. 機械の作動中、刃にさわったり、移動定規、紙押レバー等を動かしたりしないでください。
7. 裁断刃の取扱いに際して、刃先部を握ったり、さわったりしないよう充分ご注意ください。
8. 裁断刃の取りはずし／取付に際しては必ず【裁断刃脱着用安全治具】を使用してください。
9. 【安全ガードカバー】を分解したり、取り外したりすることは絶対にしないでください。
10. 本機は事務用紙またはそれに類する用紙の裁断機です。他の材質の裁断には適しません。

工 具 箱

- | | | | |
|--------------------|---|-------------------|---|
| 1) マイナスドライバー 1本 |  | 6) スパナー(13mm) 1本 |  |
| 2) プラスドライバー 1本 |  | 7) アレンキー(4mm用) 1本 |  |
| 3) T字型六角レンチ 1本 |  | 8) クランクハンドル 1セット |  |
| 4) T字型マイナスドライバー 1本 |  | 9) 紙押レバー 1本 |  |
| 5) 電源キー 2個 |  | | |

裁断刃脱着用工具

安全治具 1セット(図-6㉓) 

※安全治具は、本体設置の時点では使用しませんが、新しい刃又は、研磨済刃の脱着に使用しますので、常に本体のそばに保管しておいて下さい。

据えつけに際して

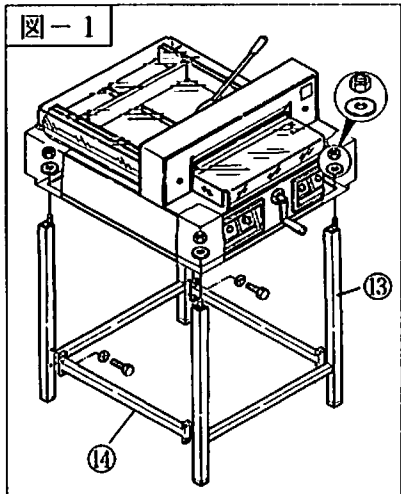
1. 機械本体関係。【図-2参照】

- (1) 紙押レバー①をしっかりと紙押軸ネジ部に固定してください。
- (2) クランクハンドル⑥の凹部を機械本体前面の円形中心ネジ部ピンに合わせ、付属の段付ネジを入れ固定してください。

以上で本体準備完了です。

2. 専用台組立て方法。(別売品)【図-1参照】

- (1) 先ず左右になる脚部の各々⑬に、つなぎ棒⑭を付属ボルト8本にワッシャーを入れしっかりと固定してください。
- (2) 機械の底板を外す。(ネジ6ヶ)
- (3) 次に機械本体を注意深く脚部先端のネジ部に角を合わせ乗せてください。
- (4) ポリ袋に入っている大座金を各々1枚ずつ上記ネジ部に入れ、次にナット4個で各々締めつけ固定してください。
工具は部品／工具箱の中にあるスパナー(13mm)を使用してください。
- (5) 機械に底板を取付ける。(ネジ6ヶ)



部 分 解 説

① 紙押レバー。

簡単、確実なレバー操作方式の紙押機構は当社独特の特許【クランピングシステム】です。
右に上げれば紙押が上がり、左に下げれば紙押が下がり、紙を確実に押さえます。

② 本体カバー。

前面2ヵ所のネジで止められています。
裁断刃の交換、又はグリス/注油の際に取り外します。
通常は取り外すことはありません。

③ 安全ガードカバー。

安全に裁断作業ができるように配慮された頑丈な厚手の樹脂製です。
カバーが上がっている時はカットボタンを押しても裁断刃は下りない【安全機能】を備えています。
裁断時はカバーを下げます。
※ご注意：どのような場合でもこの安全ガードカバーは取り外したりしないようお願いいたします。

④ 裁断刃調整アジャスター。【図-7参照】

切れ残り/切れ過ぎ(受木に刃が食い込み過ぎ)の時に簡単に調整できる機能です。
もしも、切れ残りが出たときは【アジャスターネジを右に廻します】。
これにより刃先が今までより下がるようになります。反対にアジャスターネジを左に廻すと刃は今までより上で止まり、下がらないようになります。
ご注意：下げ過ぎは受木を痛めるばかりでなく裁断刃をも痛めますので適度に調整してください。【調整範囲は2mmです】

⑤ 電源キースイッチ。

右にまわすとスイッチはONになります。キーを抜く時は左にまわして抜いてください。
●キーは安全のため不使用時には別の場所に保管してください。
●安全のためキーは本体に差し込んだまま放置しないでください。

⑥ クランクハンドル。

(微調整インジケーター付)

台盤上の移動定規を移動させるクランクハンドルです。詳しくは使用説明の項で説明してありますが非常に簡単、正確に寸法決めが行えます。

⑦ メインスイッチ。

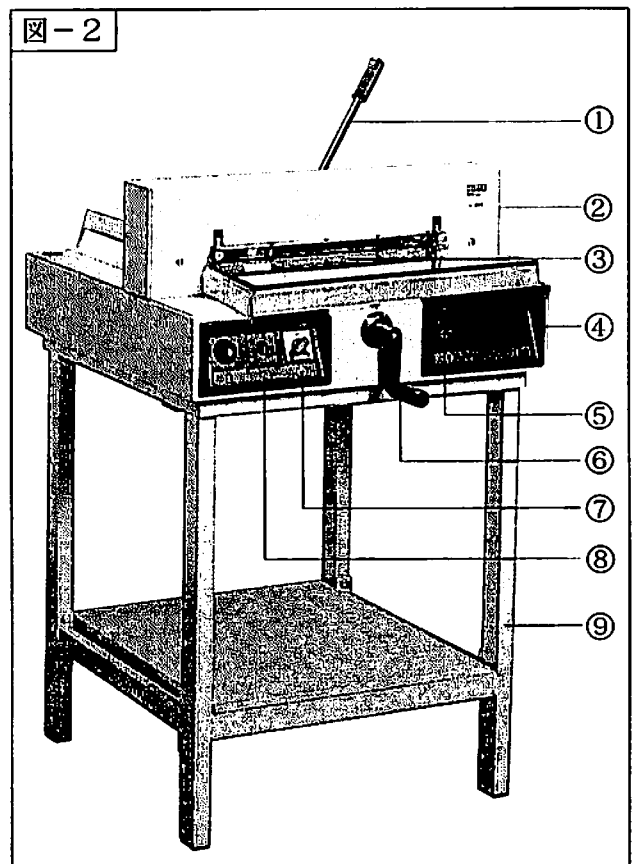
主電源入力スイッチです。
操作の第一番目に行うスイッチです。
緊急時に電源をOFFにして作動を止めるスイッチでもあります。

⑧ プロテクターボタン。

オーバーロードの時(ムリがかかり過付加状態の時)電気回路を保護する役割をしています。
もしもオーバーロードになった時は、このボタンがとび出し、機械が止まります。
1分位そのまま待ってからこのボタンを押せば電源が復帰し元通りに操作できます。

⑨ 専用台。(別売品)

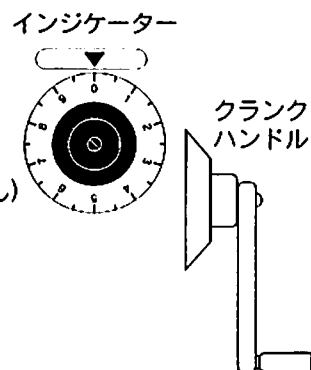
作業性がラクになる専用台です。
是非ご使用ください。



ご使用方法

【図-2参照】

1. メインスイッチ⑦のツマミを右に回しONにします。
次にキースイッチ⑤にキーを入れ右に回し電源を入れます。
2. 安全ガードカバー③を真上まで開けます。(真上まで開けないと作動しません)
3. 裁断寸法を決める。
クランクハンドル⑥を回して移動定規を動かし裁断寸法を決めます。
移動定規を前進させる = 右に回す。
移動定規を後進させる = 左に回す。
このときクランクハンドル基部にある円形の微調整インジケータが目盛り装置が大変便利に使えます。



例-1

152mmの裁断をした場合。

先ず移動クランクハンドルを回して移動定規を当枕④スケールの目盛り15cmに合わせます。
次にクランクハンドルを左に回し微調整インジケータ目盛りの「2」を▼マークに合わせれば簡単確実に完全な152mmにセットされます。

例-2

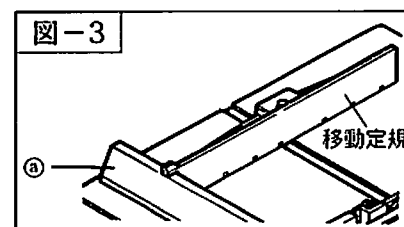
20cmに切りたい場合。

移動クランクハンドルを回し移動定規を当枕④スケールの目盛りの20cmに合わせます。
このときインジケータ目盛りの「0」が▼マークに合っていれば完全な20cmです。
【このインジケータの利用で、0.5mmの単位の裁断が可能になりました。】

●【光線が裁断位置を明示します。】

ある線上を切るとき、見当をつけて切るとき、この【裁断位置光線明示装置】が大変便利に使えます。ご活用ください。

4. 用紙のセットと紙押レバーのセット。【図-3参照】
裁断用紙は枚数にかかわらずキチンと揃え、移動定規と当枕④に正しくあたるようにセットします。次に紙押レバー①を左に強く下げ裁断用紙を完全に押さえます。【良く揃っていない用紙、移動定規と当枕にキチンと当てていない裁断は寸法角度共に狂います】



5. 安全ガードカバー③を下げる。
【安全ガードカバーを下げないと電動操作ができない《安全機構》になっています。】

6. 裁断開始と裁断終了。【図-4参照】
操作パネル両端のカットボタン⑧と⑨を【同時に】両手で押します。
刃が下がり始めます。

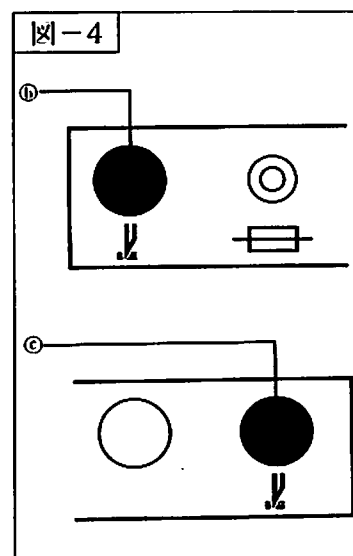
モーターの回転音が止まるまで押し続け、回転音が止まったら両手をはなします。刃は自動的に元の位置(上限)に戻ります。

●カットボタンは手をはなすと、刃はどの位置からでも【自動的に元の上限位置に戻る】最も【新しいオートリターン安全システム】を採用しています。

7. 裁断が完了しました。用紙を取り出します。
キースイッチ⑤を左に回し電源をOFFにします。
紙押レバー①と安全ガードカバー③を上げます。
●紙を取り出してください。これで裁断完了です。

すべての裁断が終了したときは：

キーを抜いて決められた保管場所に保管してください。【安全確保のため】裁断機から離れる場合には必ずメインスイッチをOFFにしてください。



切れないときの対応方法

ト	ラ	ブ	ル	内	容	原	因	対	応																																																																																	
1	電	源	が	入	ら	な	い	。	機	械	が	作	動	し	な	い	。	①	コ	ン	セ	ン	ト	に	コ	ー	ド	の	先	端	プ	ラ	グ	が	差	し	込	ん	で	い	な	い	。																																															
																																												②	メ	イ	ン	ス	イ	ツ	チ	が	O	N	に	な	っ	て	い	な	い	。	O	N	に	す	る	。																						
																																												③	キ	ー	ス	イ	ツ	チ	が	入	っ	て	い	な	い	。	キ	ー	ス	イ	ツ	チ	を	入	れ	右	に	回	す	。																		
																																												④	プ	ロ	テ	ク	タ	ー	の	ボ	タ	ン	が	飛	び	出	て	い	る	。	ボ	タ	ン	を	押	す	。																					
2	全	体	に	切	れ	残	り	が	出	る	。	受	木	の	刃	当	り	溝	が	深	く	な	っ	た	。	受	木	の	溝	を	変	え	る	。	(受	木	交	換	方	法	参	照)																																														
3	部	分	的	に	切	れ	残	り	が	出	る	。	裁	断	刃	が	受	木	に	平	均	に	当	た	ら	な	い	。	1)	切	れ	残	り	が	出	る	部	分	の	受	木	の	下	に	官	製	ハ	ガ	キ	程	度	の	紙	を	入	れ	る	。	2)	裁	断	刃	調	整	ア	ジ	ヤ	ス	タ	ー	④	を	少	し	右	に	回	し	調	整	す	る	。							
4	受	木	の	溝	が	早	く	痛	む	。	裁	断	刃	が	下	が	り	過	ぎ	て	い	る	。	裁	断	刃	調	整	ア	ジ	ヤ	ス	タ	ー	④	を	少	し	づ	つ	左	に	回	し	調	整	す	る	。																																									
5	上	記	以	外	の	切	れ	残	り	。	刃	が	摩	耗	し	た	。	刃	を	研	磨	に	出	し	て	く	だ	さ	い	。	(刃	は	通	常	コ	ピ	ー	用	紙	で	1,500	回	の	裁	断	又	は	延	べ	20	時	間	の	使	用	で	研	磨	が	必	要	に	な	り	ま	す	。	お	近	く	の	研	磨	屋	さ	ん	か	購	入	店	に	御	連	絡	く	だ	さ	い	。

受木の交換方法

受木は14mm角の4面体です。

今お使いの面を[180度廻して溝に入れ替えれば新しい受木面]になります。

従いまして4面を8面として使え大変経済的に使えるように設計されています。

- 1 本体カバー②の左下の凹形隙間からマイナスドライバーを入れます。
- 2 ドライバーの先で受木の端を上げ、前面からとりだします。
- 3 挿入方法は、受木を前面から溝の中に入れれば完了です。

刃の交換方法

お願い：刃の取扱いには十分注意をしてください。【図-2/5/6/7参照】

準備工具：【ードライバー】【T字型六角レンチ】【裁断刃脱着用安全治具】【T字型マイナスドライバー】

刃の取り出し方法

- ① 裁断刃調整アジャスター④を左一杯にまわしておきます。【図-7参照】
- ② 電源スイッチを入れ左右のカットボタンを押し刃を下まで下げ、片手だけカットボタンからはなし、メインスイッチ⑦をOFFにします。（そのあとで一方の手をはなします。）
- ③ 3個のエキセントリックネジ⑩をT字型マイナスドライバーで「O」印に合わせておきます。【図-5参照】
- ④ 次にメインスイッチ⑦をONにします。刃は自動的に上限に戻ります。【図-2参照】
- ⑤ 付属工具のT字型六角レンチで⑧、⑨2個の刃止ネジをとり、そのネジ穴に付属工具の裁断刃脱着用安全治具（以下安全治具と呼ぶ）⑥2本をしっかりと固定しておきます。【図-5/6参照】
- ⑥ 残り④、③、⑩の3個のネジをとりまします。【図-5参照】
- ⑦ 最後に2本の安全治具を少しゆるめ、両手で刃を丁寧に取り出します。これで刃の取り出しは完了です。

刃のセット方法

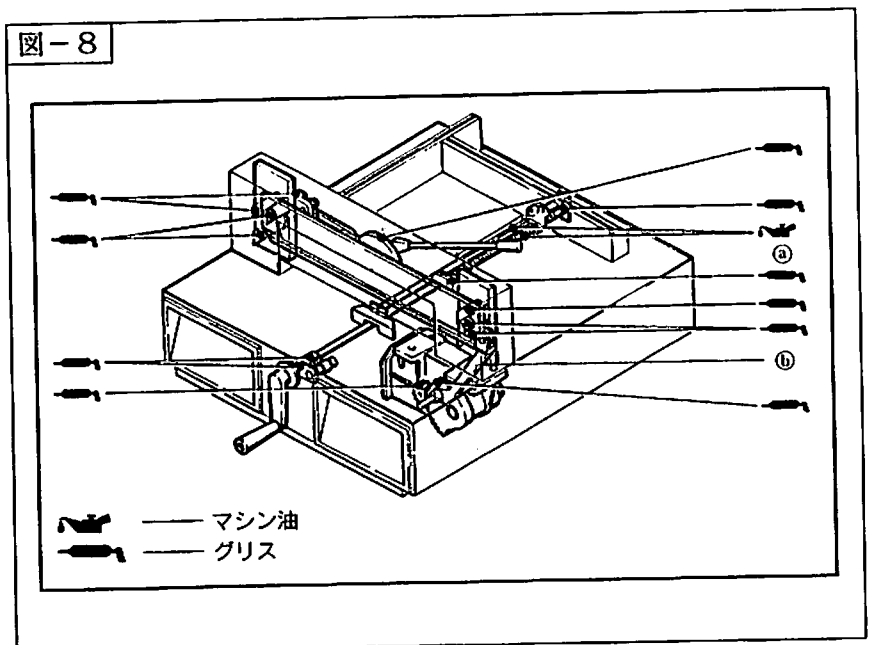
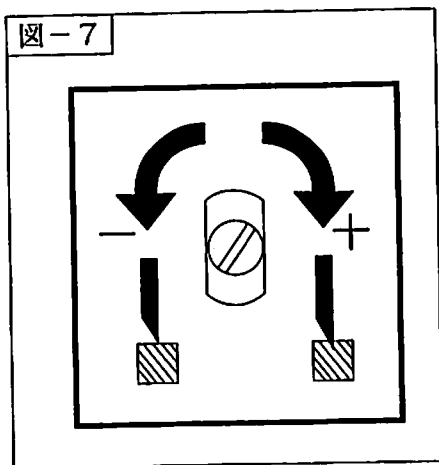
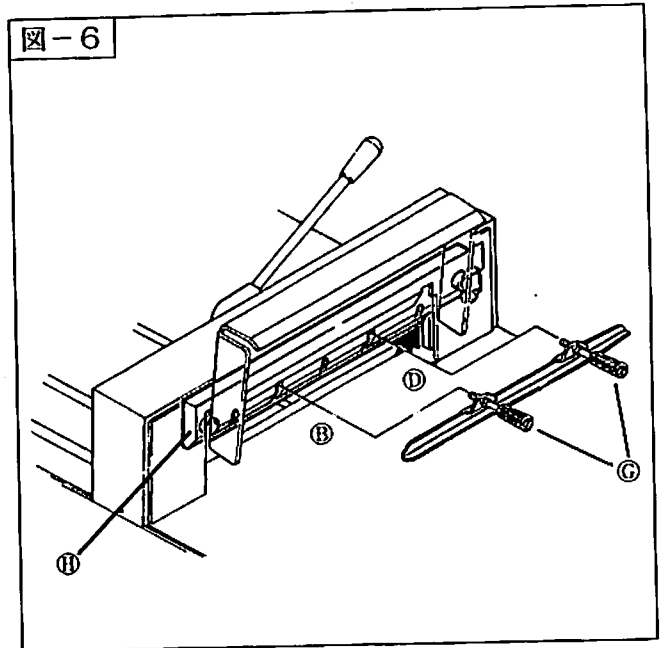
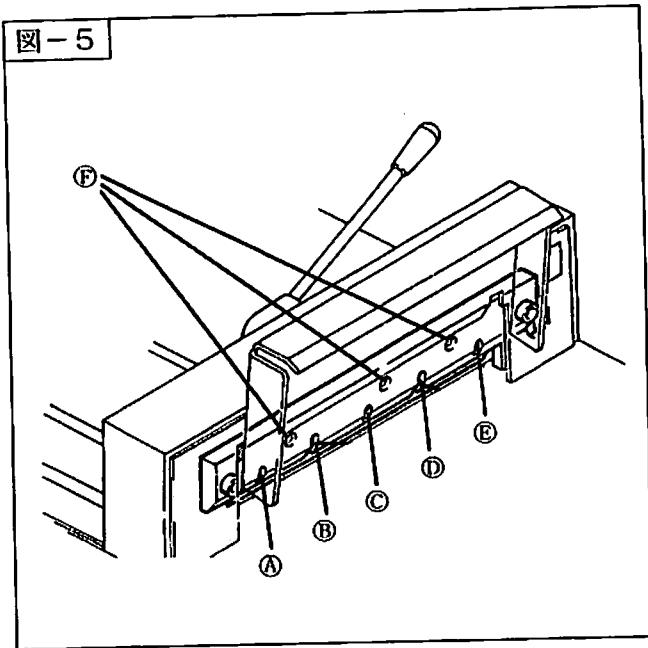
- ⑧ 安全治具を新しい刃又は研磨済刃の止穴⑧、⑨にセットし刃当板⑩のU字型の穴にしっかりと固定します。【図-5/6参照】
- ⑨ 止穴3個④、③、⑩に刃止ネジを入れしっかりと固定します。
- ⑩ 安全治具をはずし各々の穴に刃止ネジを入れしっかりと固定します。
- ⑪ 裁断テストをする。
 - 1) 受木の面を変え新しくしておきます。
 - 2) A3判の裁断用紙1枚を裁断します。
もしも切れ残りが出たときは次の方法に従って調整してください。
 - 3) 電源を入れ刃を一番下まで下げメインスイッチをOFFにします。刃は最下点で止まっています。【上記②項参照】刃は受木と平行になっていなければなりません。もしも平行でない場合は…？
 - 4) 5個の刃止ネジをほんの少しゆるめ、3個のエキセントリックネジ⑩をT字型マイナスドライバーで+方向に右に回し受木に対して平行に接触するまで下げて調整し、5個の刃止ネジをしっかりと固定します。
 - 5) 裁断用紙1枚を裁断します。
もしも切れ残りが出たときは次の項に進んでください。
 - 6) 裁断刃調整アジャスター④を少しずつ右に回すと刃全体が下がります。【図-7参照】切れ残りが出なくなるまで調整します。
 - 7) 次に最終裁断テストして100枚以上の裁断用紙を裁断テストします。
もしも切れ残りが出たときは前項 6)の裁断刃調整アジャスター④で調整します。【図-2/7参照】
以上で刃のセットは完了です。

◎ 裁断刃の交換作業中は必ず【紙押を下げ】手指が絶対に入らないようにしておいてください。

給油保守点検

本機を安全に永くお使いいただくために下記の項目を定期的に点検していただき給油等を実施してください。【図-8参照】

- 1 【図-8の㊸移動定規の駆動部】に【1週間に1度】マシン油を給油してください。
- 2 【図-8の14カ所】に【半年に1度】グリスを給油してください。
- 3 機械本体内部に紙片や紙埃がたまりますので最低【半年に1度】内外の掃除をしてください。
- 4 【図-8の㊹連結部】の摩擦を【1年に1度】チェックしてください。
- 5 電源コード、安全ガードカバーが完全かどうか【1年に1度】は点検してください。



MAITZ

《安全はMAITZのこころ》

MAITZ corporation

本社工場 宇都宮市宮ノ内1-175
TEL 028 (653) 0656 (代)
東京支店 東京都台東区台東2-19-9
ゼネラルビル 2F
TEL 03 (5817) 3383
<http://www.maitz.jp>

06.11.25ML